

あか

たすき

# 紅い襷展

世界遺産登録  
3周年記念

平成29年7月1日(土)～10月22日(日)

【場所】富岡製糸場東置繭所内

【料金】無料(別途、富岡製糸場入場料が必要)



## 関連イベント

○トークショー及びミニコンサート  
【日時】9月23日(土) 午前11時  
【場所】富岡倉庫  
【定員】200名

○握手会及びサイン会  
【日時】9月23日(土) 午後1時  
【場所】富岡製糸場東置繭所

【出演者】  
水島優(横田英役)  
吉本実憂(河原鶴役)

※応募方法は広報とみおか8月号及び  
富岡市HPにてお知らせいたします。  
問い合わせ先：富岡製糸場戦略課  
TEL 0274-64-0005



平成29年10月7日(土)劇場公開!  
公開劇場：イオンシネマ高崎  
ユナイテッドシネマ前橋



# 明治維新、日本の大転換期——

若き女性たちの活躍が、産業のあらたな扉をひらいた  
知られざる感動の物語

映画『紅い襷』公開に伴い、関連する企画展を開催します。

## 映画「紅い襷」あらすじ

2014年、世界遺産に登録された「富岡製糸場と絹産業遺産群」。それは、かつて日本人とフランス人の女性とともに、時代を切り開いた証です。明治初期、日本の近代化を大きく牽引した輸出品は重厚な「軍艦」ではなく、しなやかな「絹」でした。その生産を支えていたのは、名もなき女性たちの手であったことをご存知でしょうか。故郷を離れ、新しい日本のために糸をひき続けた若き工女たちと、フランスから、製糸業を通して日本の近代化に尽力した、製糸場の首長ポール・ブリュナと、エミリ夫人、そして厳しくも温かいフランス人女性教師。彼女らによって、日本に新たな産業の風が吹き込まれたのです。工女たちが、それぞれの不  
安や葛藤を抱えながらも、次第に身分や国境を超え、近代化とい  
う扉を自ら開いた先で手にしたものとは？そして「生糸の神様」  
と呼ばれたブリュナが日本に残したものとは・・・・・・？  
日本の近代化を担った若き工女たちの姿を、長野・松代の工女  
横田英の手記をもとに紐解いていきます。

## 展示内容

- ・ 紅い襷看板パネル
  - ・ 出演者の写真パネル
  - ・ 富岡製糸場正門のイミテーション
  - ・ 映画予告編の放映
  - ・ メイキング写真
  - ・ 撮影で使用された衣装やセット
  - ・ 撮影で使用された明治期のピアノ
  - ・ 地元パネルコーナー
  - ・ 酒井登巳子氏による花まゆ作品
- ※富岡東高等学校が協力した歌 (BGM)